



興味を持っていただき
ありがとうございます！
施政方針とは、
市長がどんな考え方や
方向性で、令和3年度の
那覇市政を進めていくかを
述べたものです。
詳しくは次のページで説明します。

市長！

施政方針って
なんですか!?

老舗のチカラ
第3回となる今回は、市内で
地域医療を支える、仲地
紀之氏、仲地紀茂氏のご兄
弟と従兄弟の仲地紀智氏の
お三方にお話を伺いました。

Vol. 3

城間市長 仲地家は琉球王朝から続く医師の家系で、
現在も6名の方が現役の医師として活躍されて
います。おひとりは、現在、本市立病院で内科
医として勤務されています。みなさん子どもの
頃から医師を目指されていたのでしょうか。

仲地紀之氏 小学6年の頃、担任の先生に「あなたの
おじいちゃんに手術してもらったよ。君も医者さ
んになるんだよ」と言われたことがきっかけです。親
というより周りからの勧めが大きかったですね。

城間市長 ご自身で自分の環境をしっかり捉え
られていたんですね。仲地家として代々医業に携
わることに対して、感じていることはありますか？

仲地紀智氏 父やおじたちからは、人の基本となる
生き方を学んだ気がします。

仲地紀茂氏 医師というのは、人から必要とされる、
なくてはならない仕事だということは常に感じてい
ます。

城間市長 親御さんたちの背中をみてここまでこら
れたんですね。

市では、今後多様化する市民ニーズに対応するため、
新しい技術を積極的に取り入れることとしています。
医療においてはどうか考えましょうか。

仲地紀智氏 コロナがきっかけで遠隔診療も進んで
きています。わざわざ県外に行かなくても技術や知
識を習得できるようになったのはとても良いことだ
と思います。

仲地紀之氏 医療は人と人との対面での問診が基本
です。「見つける」「見誤らない」ために技術は更新し
ていかなければならないと考えていますが、医者
の一人よがりになってはいけなさと感じています。

仲地紀茂氏 効率化という意味ではいいと思います
が、人の手や感覚、視覚が入ることも必要です。両方
がいいバランスでやっていかないといいですね。

城間市長 「人を見る」という部分を大事にして
いらっしゃるんですね。「医は仁術」という言葉
を思い出し、市民の幸せにしっかり繋がってい
ると感じました。本日はお忙しいなかありがとうございました。

地域の医療を支える9代目

琉球王国時代に医師として活躍した仲地紀仁氏は、牛痘種痘を学び、
沖縄で多くの人々の命を救った人物で、護国寺に顕彰碑が建立され
ている。今回のお三方は、仲地紀仁医師から数えて9代目にあたる。



仲地胃腸内科クリニック
仲地紀茂 院長



仲地耳鼻咽喉科クリニック
仲地紀之 院長



仲地レディースクリニック
仲地紀智 院長